

# 三井住友信託銀行株式会社(グリーン預金)

契約の種類： アニュアルレビュー

日付： 2022年6月3日

担当者：

Kosuke Kanematsu, kosuke.kanematsu@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2277

Marie Toyama, marie.toyama@sustainalytics.com, (+81) 3 4510 7394

## はじめに

2021年5月、三井住友信託銀行株式会社(以下、「三井住友信託」又は「同行」)は同行の顧客に対し、グリーン預金商品の取り扱いを開始しました(以下、「グリーン預金」)。グリーン預金に関して、同行は同預金によって調達した資金を保持し、環境改善効果の創出が期待される適格ローン(以下「適格ローン」)へのファイナンス及び/又はリファイナンスに活用することが求められます。2022年5月に三井住友信託は、グリーン預金を通して資金充当を受けた適格ローンのポートフォリオ(以下、「適格ポートフォリオ」)が三井住友信託銀行グリーンプロダクトフレームワーク(以下、「フレームワーク」)で設定された適格クライテリアに合致しているかについて、サステナリティクスに評価を委託しました。尚、フレームワーク内に記載された適格クライテリアは、2021年4月にサステナリティクスがマーケット・プラクティスとの整合性を検証するためにレビューを行いました。<sup>1</sup>

## 評価基準

サステナリティクスは、以下の要件について、2021年5月から2022年3月の間に資金充当を受けた適格ポートフォリオを評価しました。

### 1. フレームワークで設定された適格クライテリアとの適合

表1は、調達資金の充当を受けたカテゴリー、適格対象となる活動及び除外項目を示します。

表1：カテゴリー、適格対象となる活動及び除外項目

カテゴリー	適格対象となる活動	除外項目
再生可能エネルギー	下記の再生可能エネルギーを生成・運搬するインフラ、施設、設備の取得、開発、建設、運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電</li> <li>太陽熱発電</li> <li>風力発電</li> <li>地熱発電</li> <li>バイオマス発電(食料生産や廃棄物と競合しない持続可能な原料に限定され、直接排出量が100gCO<sub>2</sub>/kWh未満の発電プロジェクトに限定される)</li> <li>小規模流れ込み式水力発電</li> </ul>	地熱発電 <ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>排出量が100gCO<sub>2</sub>/kWh以上のもの</li> </ul> バイオマス発電 <ul style="list-style-type: none"> <li>パーム油</li> <li>木材パルプ</li> <li>泥炭、非認証原料、および持続可能な原料(非廃棄物)からの調達が不明なもの</li> <li>森林破壊、生物多様性の損失、または土壌炭素プールの減少に寄与する原料(非廃棄物)に依存するエネルギー</li> <li>プラスチック、ゴム、タイヤ由来の燃料からエネルギー、または廃棄物からの燃料転換</li> </ul>

<sup>1</sup> 三井住友信託銀行グリーンプロダクトフレームワーク(1.0版)は、こちらよりご覧頂けます：  
[https://www.smth.jp/-/media/th/sustainability/esg/pdf/SMTB\\_Green\\_Product\\_Framework\\_JPN.pdf](https://www.smth.jp/-/media/th/sustainability/esg/pdf/SMTB_Green_Product_Framework_JPN.pdf)

		<p>水力発電</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発電容量が 25 メガワット以上で貯水を伴うもの</li> <li>重大な問題や係争がないことを保証する環境・社会影響評価が行われていないプロジェクト</li> </ul>
--	--	---

## 発行体の責任

三井住友信託は、プロジェクトの概要説明や充当額を含め、適格ローンの詳細に関する正確な情報及び文書を提供する責任を負います。

## 独立性と品質管理

投資家に環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査・格付けを提供するプロバイダとして業界をけん引するサステナリティクスは、三井住友信託の適格ポートフォリオとフレームワークで設定された適格クライテリアとの適合性を検証しました。本契約の一環として、同行のフレームワークとの適合性の確認のため、三井住友信託の従業員からの文書の収集及び確認を行いました。

サステナリティクスは、調査にあたって、適格ローンに関して三井住友信託から提示された情報と事実に依拠しています。三井住友信託が不正確又は不完全なデータを提供したことにより、本文書で示した見解、調査結果、結論が正確性を欠く場合、サステナリティクスはいかなる責任も負いません。

サステナリティクスは、評価プロセスにおいて最高の品質と厳密さを確保するためにあらゆる努力をし、審査結果の評価にあたっては社内のサステナビリティ・ボンド・レビュー委員会（Sustainability Bonds Review Committee）が監督を行いました。

## 結論

限定的保証プロセスに基づき検討した結果<sup>2</sup>、すべての重要な側面において、三井住友信託のグリーン預金による調達資金の充当を受けた適格ポートフォリオが、フレームワークで規定された適格クライテリアに適合しないと判断すべき事実は認められませんでした。三井住友信託はサステナリティクスに対し、グリーン預金による調達資金が 2022 年 3 月 31 日時点で全額充当されたことを開示しました。

## 調査結果の詳細

表 2：調査結果の詳細

評価基準	調査手順	調査結果	特定された過失または例外
資金用途クライテリア	適格ローンと、フレームワーク及び上の表 1 に示されている適格クライテリアとの適合性を確認する為に、適格ポートフォリオを検証。	審査したすべての適格ローンはフレームワークで設定された適格クライテリアに適合していました。	該当なし

<sup>2</sup> サステナリティクスの限定保証プロセスには、発行体の提供する、調達資金の充当を受けているプロジェクトの詳細に関する文書（プロジェクトの概要説明、充当額など）の調査が含まれます。発行体には正確な情報を提供する責任があります。サステナリティクスはプロジェクトの現地調査は実施していません。

## 参考資料

### 参考資料 1：グリーン預金の調達資金の充当状況

カテゴリー	サブカテゴリー	融資残高 (百万円)	グリーン預金 調達額 (百万円)	調達資金の 充当額 (百万円)
再生可能エネルギー	太陽光発電	2,843	2,100	2,100
合計		2,843	2,100	2,100

## 免責事項

© Sustainalytics 2022 無断複写・複製・転載を禁ず

本書に包含又は反映されている情報、手法及び意見は、サステナリティクス及び／又はその第三者供給者の所有物（以下、「第三者データ」）であり、サステナリティクスが開示した形式及びフォーマットによる場合又は適切な引用及び表示が確保される場合のみ第三者へ提供されます。これらは、情報提供のみを目的として提供されており、（1）製品又はプロジェクトの保証となるものではなく、（2）投資助言、財務助言又は目論見書となるものではなく、（3）有価証券の売買、プロジェクトの選択又は何らかの種類の商取引の実施の提案又は表示と解釈してはならず、（4）発行体の財務業績、金融債務又は信用力の評価を表明するものではなく、（5）いかなる募集開示にも組み込まれておらず、組み込んではありません。

これらは、発行体から提供された情報に基づいたものですので、これらの商品性、完全性、正確性、最新性又は特定目的適合性は保証されていません。情報及びデータは、現状有姿にて提供されており、それらの作成及び公表日時点のサステナリティクスの意見を反映しています。サステナリティクスは、法律に明示的に要求されている場合を除き、いかなる方法であっても、本書に含まれた情報、データ又は意見の使用に起因する損害について一切責任を負いません。第三者の名称又は第三者データへの言及は、かかる第三者に所有権があることを適切に表示するためのものであり、その後援又は推奨を意味するものではありません。当社の第三者データ提供者のリスト及びこれら各者の利用規約は、当社のウェブサイトに掲載されています。詳しくは、<http://www.sustainalytics.com/legal-disclaimers> をご参照ください。

発行体は、自らが確約した内容の確実な遵守とその証明、履行及び監視について全責任を負います。

英語版と翻訳版との間に矛盾もしくは不一致が生じた場合は英語版が優先されるものとします。

## サステナリティクス（モーニングスター・カンパニー）

サステナリティクスは、モーニングスター・カンパニーであり、環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査、評価及び分析を行う独立系機関であり、責任投資（RI）戦略の策定と実施について世界中の投資家をサポートしています。ESG及びコーポレート・ガバナンスに関する情報及び評価を投資プロセスに組み込んでいる、数百に及ぶ世界の主要な資産運用会社や年金基金を支援しています。また、多国籍企業や金融機関、各国政府を含む世界の主要な発行体に、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドのフレームワークに対する信頼性の高いセカンドパーティ・オピニオンを提供しています。2020年には、Climate Bonds Initiativeにより、3年連続で「気候ボンドのレビューにおける最大の認証機関」に選ばれたほか、Environmental Finance誌により、2年連続で「最大の外部レビュー機関」に認定されました。詳しくは、[www.sustainalytics.com](http://www.sustainalytics.com) をご参照ください。

